



【人体先生図鑑】

ペズル/文

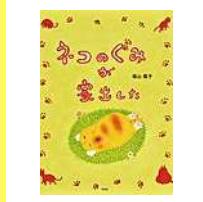
味はどこで感じるの？ なんで血は赤いの？ 脳がいい人は脳が大きいの？ 運動神経って何？ 死ぬってどういうこと？ 人体のふしきを楽しい絵といっしょに解説する。「モノシリ先生の腸すごい話」も掲載。



【みんなで見守る地域猫】

高橋 うらら/文

近所でくらしているノラ猫を地域住民が協力し合って、みんなで見守る「地域猫活動」は、どのように生まれ、広まったのか。発案者である獣医師・黒澤泰さんが歩んできた挑戦の道のりをたどる。



【ネコのぐみが家出した】

福山 履子/著

ある日、どこちゃんは、犬のぬいぐるみのぶるうるをポケットに入れて、遊びに出かけました。連れていってもらえたがつたネコのぐみは、「ぼくなんか、いなくてもいいんだ。ぼくは家出する!」と言って…。



【嗅ぐのが楽しくなる鼻のひみつ】

さいとう あづみ/文と絵

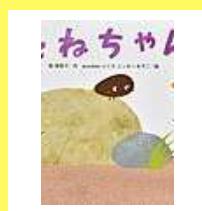
休みなく呼吸ができるのも、さまざまなにおいを嗅げるのも、鼻のおかけです。鮮やかなイラストを用いながら、鼻のしくみや動物の鼻のふしき、鼻を守るためにできることについて説明します。



【こども文章教室】

茂木 秀昭/監修

「何を書けばいいのかわからな…」という悩みを解決！ 文章の書き方という技術面だけでなく、文章を通して自分の思いをいかに効果的に届けるか、そのためには他の文章からいかに学ぶかなどをわかりやすく紹介する。



【たねちゃん】

乾 栄里子/作

眠くなつたたねちゃんは、心地よいベッドを探しています。「いいな」と思つ場所を見つけても、そこは熊の耳だったり、猿の鼻だったり。やつとたどりついた象のうんちのおふとんの中で、たねちゃんは芽を出しつ…。



【異世界フルコース】

廣嶋 玲子/作

お小遣いを貯めて買ったフライドチキンを食べようとした瞬間、異世界に召喚されてしまつた尾巻啓介。そこはおいしいものがなんにもない世界。ハンテンコな材料から食べられるものを見つけ出し、おいしい極上の料理を作り出せ！



【ツバメの親子はどこにいる】

桜崎 茜/作

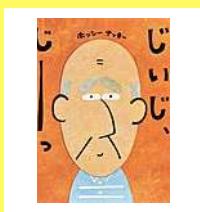
小学5年生の明照は、白杖をもつて弟の音晴の入学式に来た母の姿をからかってきたクラスメイトたちと、取つ組み合いのケンカになり…。視覚障害者の親のもとに生まれた兄弟の成長を描く。



【糸をつむいで世界をつないで】

イ ジェムン/文

布には世界が織りこまれてる。はた織りの音がうたうのは、人のつながり、そのぬくもり。世界中で手から手へと受け継がれてきた織物の歴史を、美しい絵とリズミカルな言葉で伝えます。



【じいじ、じーつ】

ホッシーナッキー/作・絵

すべりだいですべったり、犬にあってびっくりしたり、ころんで泣いてしまったり…。歩き始めたばかりの「ぼく」を見つめるじいじのまなざしに心が温かくなる絵本。



【君のせいだ、涙ができるのは】

林 けんじろう/著

広島の祖父が10歳の頃、6年前の出来事を書いた手記。表紙に記された年月から6を引くと、昭和20年の8月になり…。注目の児童文学作家が綴る、狂気満ち、苦しみに支配された世界で、精一杯生きた人の物語。



【給食当番のいちにち】

大塚 菜生/文

はじめての給食当番はわくわく、ときどきがいっぱい。小学1年生のみづくんは、朝からそわそわして、授業中も給食当番のことが頭から離れません。さて、どうなるのでしょうか？ 給食当番の仕事を、リアルに描く。